

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	23976000061
事業所名	グループホーム「ポプラ」

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し、事業所情報を区長を通して発信している。また地域防災活動を行い、地域と事業所、行政と連携し、福祉避難施設となっている。認知症カフェを開き、住民への介護相談窓口の一端となっている。また、他のカフェへ利用者が向くこともある。地域行事へ積極的に参加している。ボランティアの受け入れも再開し、利用者が楽しんでいて、今はまだできていないが将来的に幼稚園や保育園との交流や職場体験の受け入れを目指している。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は年に六回、今年度も対面での開催ができた。会議には地区長、民生委員、市の担当者や包括からも出席し、福祉用具レンタル事業者からの出席もあった。積極的な意見が毎回あがり、回答することで施設での生活について、利用者ができることはやっってもらい、できないことに手をさしのべる、楽しくすごしてもらおう支援についての理解を深めてもらう場として活用している。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議への市の高齢福祉課担当者、包括支援センター員の参加がある。受け入れ相談にのっている。市の研修へ職員は出席している。また研修の講師を派遣したこともある。地域と行政と事業所の協同事業として認知症災害時支援モデルとして参加することで、事業所側としてもマニュアルを新たに整備することもできた。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族あてに毎月事業所だよりを発行しており、個別のメッセージカードも添えている。Instagramにあげることにより載りきれない利用者の様子を見てもらっている。が、ネット上の情報ではなく利用者の様子を知りたい家族あてに個別に画像を印刷し、メッセージとともに送り、その要望に添えている。面会や電話でそのほかの意見を必ずきくようにしており、もし要望などがあればすぐ職員間で共有している。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎	○							

備考欄

--